

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	2019年4月1日から2045年4月14日までです。	
運 用 方 針	日系外債マザーファンドⅡ（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、日本の企業およびその子会社等または政府系機関・地方自治体等の発行する外貨建債券に投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主 要 投 資 対 象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	日 系 外 債 マザーファンドⅡ	取得時において投資適格の信用格付を取得している外貨建債券を主要投資対象とします。
投 資 制 限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	日 系 外 債 マザーファンドⅡ	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分 配 方 針	毎年4月15日および10月15日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

運用報告書(全体版)

日系外債オープン
(為替ヘッジなし)

【2025年4月15日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「日系外債オープン（為替ヘッジなし）」は、2025年4月15日に第12期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1
ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

- 口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ
03-3516-1300（受付時間：営業日の9:00～17:00）

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			Bloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPY		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
8期(2023年4月17日)	11,112	270	△5.1	168.45	△2.5	93.6	—	91
9期(2023年10月16日)	11,935	260	9.7	183.51	8.9	95.7	—	90
10期(2024年4月15日)	12,474	260	6.7	195.45	6.5	95.1	—	120
11期(2024年10月15日)	12,575	230	2.7	201.03	2.9	95.3	—	108
12期(2025年4月15日)	11,655	220	△5.6	196.01	△2.5	91.7	—	122

(注) 基準価額および分配金（税引前）は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。
(注) Bloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPYは当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。
Bloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPYは、当該日前営業日の指数値です。（以下同じ。）
(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。
(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

「Bloomberg®」およびBloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPYは、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーク」）のサービスマークであり、SBI岡三アセットマネジメント株式会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバークはSBI岡三アセットマネジメント株式会社とは提携しておらず、また、当ファンドを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバークは、当ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

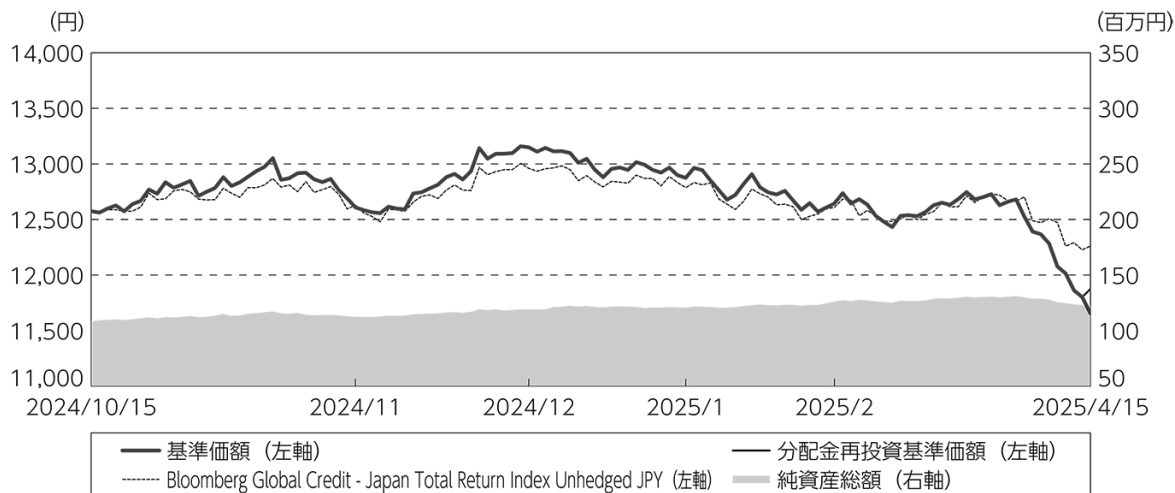
年 月 日	基 準 価 額		Bloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPY		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期 首) 2024年10月15日	円 12,575	% —	ポイント 201.03	% —	% 95.3	% —
10月末	12,847	2.2	203.82	1.4	95.8	—
11月末	12,609	0.3	201.89	0.4	96.1	—
12月末	13,149	4.6	207.18	3.1	96.1	—
2025年1月末	12,875	2.4	204.42	1.7	95.0	—
2月末	12,644	0.5	201.58	0.3	94.5	—
3月末	12,628	0.4	203.32	1.1	95.3	—
(期 末) 2025年4月15日	11,875	△5.6	196.01	△2.5	91.7	—

(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金（税引前）込み、騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2024年10月16日～2025年4月15日）



期 首：12,575円

期 末：11,655円（既払分配金（税引前）：220円）

騰落率：△ 5.6%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）参考指数は、Bloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPYです。
- （注）分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2024年10月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「日系外債マザーファンドⅡ」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・保有債券からの利息収入がプラス要因となりました。

（主なマイナス要因）

- ・投資対象とした米ドルの対円での下落がマイナス要因となりました。
- ・保有債券の利回り上昇による債券価格の下落がマイナス要因となりました。

投資環境

(2024年10月16日～2025年4月15日)

欧米の債券市場は、短期ゾーンの利回りが低下（債券価格が上昇）する一方、長期ゾーンの利回りが上昇（債券価格が下落）しました。欧米の主要中央銀行の利下げを受けて、短期ゾーンの買いが優勢となる一方、長期ゾーンは米国のインフレやドイツの財政規律緩和への警戒感等から、売りが強まる展開となりました。また、期末にかけては、トランプ米大統領の関税政策を受けて金融市場が混乱するなか、利回りが乱高下する場面も見られました。

スプレッド（社債と国債の利回り格差）については、全般に拡大しました。欧米の主要中央銀行の金融緩和を背景に、社債市場は概ね安定した推移を続けましたが、期末にかけて株価が大幅に下落し、投資家のリスク警戒感が高まったことから、市場の流動性が低下するなかでスプレッドが拡大しました。

為替市場については、米ドルが対円で下落しました。日米の株価下落を受けて市場のリスク警戒感が高まり、米ドルの対円での売りが優勢となりました。また、政策運営の不確実性が高まるトランプ政権への不信感を背景に、米国の資本市場からの資金流出が懸念されたことなども、米ドルの売り圧力となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年10月16日～2025年4月15日)

「日系外債マザーファンドⅡ」の受益証券の組入比率を概ね高位に保ちました。

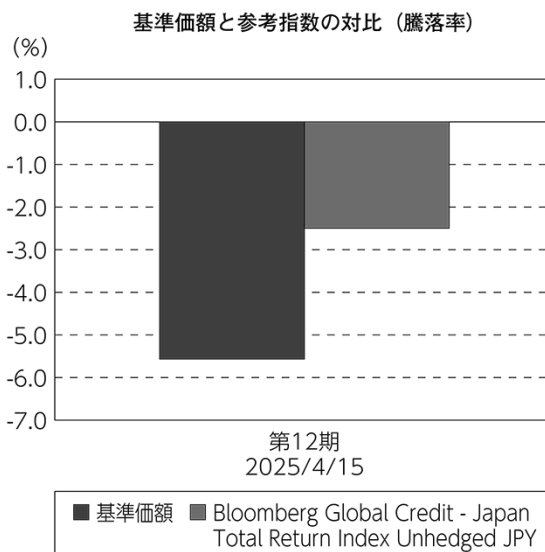
実質組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り為替ヘッジは行いませんでした。

「日系外債マザーファンドⅡ」においては、日本の企業およびその子会社等が発行する外貨建債券に投資を行い、同債券の組入比率は概ね高位を保ちました。銘柄の選定にあたっては、流動性、信用リスクに留意しつつ、利回り、業績、財務面等での魅力が高いと判断される債券に着目しました。また、当期においては、市場動向に応じてポートフォリオのデュレーションを調整しつつ、利息収入の確保に努めました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年10月16日～2025年4月15日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、Bloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPYです。

分配金

（2024年10月16日～2025年4月15日）

当期の分配金につきましては、分配方針に則り、分配可能額、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第12期
	2024年10月16日～ 2025年4月15日
当期分配金	220
（対基準価額比率）	1.853%
当期の収益	220
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,382

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

欧米主要国の債券市場については、利回りの低下を予想します。米国の通商政策等に対する先行き不透明感を背景に、景気減速観測が高まるなか、買いが優勢となることを見込んでいます。また、各国・地域で利下げが想定されることなども、利回りの低下を促すと考えています。

スプレッドについては、徐々に安定した動きになることを予想します。当面は景気減速懸念を背景に、投資家のリスク警戒感が継続し、社債市場は不安定な展開となることが想定されます。ただ、欧米の主要中央銀行は金融市場の流動性に配慮し、今後も緩和的な金融政策を継続すると考えられるため、次第に市場への投資資金の流入が回復し、落ち着いた動きとなることを見込んでいます。

為替市場については、徐々に米ドルが対円で底堅い動きとなることを予想します。当面は米国の政策運営に対する先行き不透明感から、米ドルに売りが出やすい環境が続くと思われます。ただ、欧米の主要中央銀行の金融緩和を受けて、各国の株式市場が底入れすることも想定されるため、次第に市場のリスク警戒感が緩み、米ドルが対円で買い戻される可能性を見込んでいます。

このような状況下、当ファンドの運用においては、主要な投資対象である「日系外債マザーファンドⅡ」の受益証券の組入れを高位に維持して運用する方針です。また、実質組入外貨建資産につきましては、原則として為替ヘッジを行いません。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年10月16日～2025年 4 月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(21)	(0.165)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(21)	(0.165)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.015	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.009)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	46	0.361	
期中の平均基準価額は、12,792円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

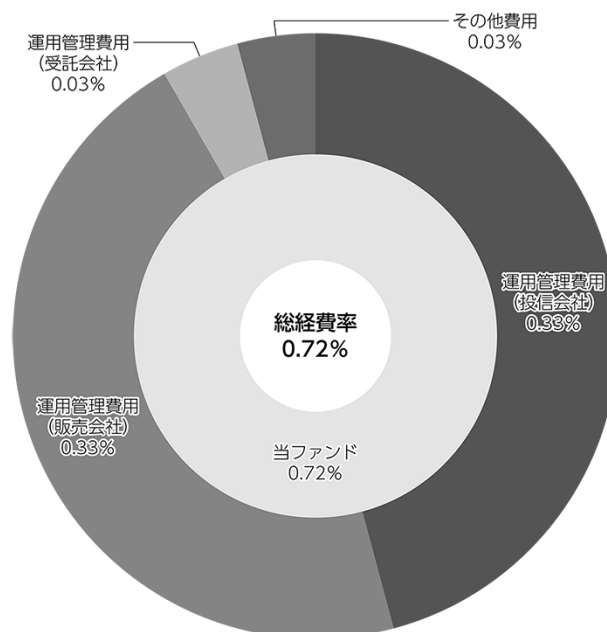
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.72%です。



（注）当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注）各比率は、年率換算した値です。

（注）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況 (2024年10月16日～2025年 4 月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
日系外債マザーファンドⅡ	15,775	25,800	3,556	5,700

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等 (2024年10月16日～2025年 4 月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細 (2025年 4 月15日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
日系外債マザーファンドⅡ	66,553	78,772	120,017

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成 (2025年 4 月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
日系外債マザーファンドⅡ	120,017	96.0
コール・ローン等、その他	5,061	4.0
投資信託財産総額	125,078	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 日系外債マザーファンドⅡにおいて、当期末における外貨建純資産（4,592,011千円）の投資信託財産総額（4,694,173千円）に対する比率は97.8%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル＝143.64円、1ユーロ＝162.66円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年4月15日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	125,078,577
コール・ローン等	5,060,824
日系外債マザーファンドⅡ（評価額）	120,017,694
未収利息	59
(B) 負債	2,827,226
未払収益分配金	2,307,684
未払解約金	97,385
未払信託報酬	414,327
その他未払費用	7,830
(C) 純資産総額（A－B）	122,251,351
元本	104,894,754
次期繰越損益金	17,356,597
(D) 受益権総口数	104,894,754口
1万口当たり基準価額（C／D）	11,655円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.1655円です。
(注) 当ファンドの期首元本額は86,066,093円、期中追加設定元本額は30,295,835円、期中一部解約元本額は11,467,174円です。

○損益の状況（2024年10月16日～2025年4月15日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,957
受取利息	2,957
(B) 有価証券売買損益	△ 7,451,198
売買益	99,652
売買損	△ 7,550,850
(C) 信託報酬等	△ 422,157
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 7,870,398
(E) 前期繰越損益金	5,214,623
(F) 追加信託差損益金	22,320,056
（配当等相当額）	（ 19,292,070）
（売買損益相当額）	（ 3,027,986）
(G) 計（D＋E＋F）	19,664,281
(H) 収益分配金	△ 2,307,684
次期繰越損益金（G＋H）	17,356,597
追加信託差損益金	22,320,056
（配当等相当額）	（ 19,418,926）
（売買損益相当額）	（ 2,901,130）
分配準備積立金	5,576,050
繰越損益金	△10,539,509

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 収益分配金

決算期	第12期
(a) 配当等収益(費用控除後)	2,669,111円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	19,418,926円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	5,214,623円
分配対象収益(a＋b＋c＋d)	27,302,660円
分配対象収益(1万口当たり)	2,602円
分配金額	2,307,684円
分配金額(1万口当たり)	220円

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税引前）	220円
支払開始日	2025年4月21日（月）までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

＜お知らせ＞

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の記載変更を行いました。（実施日：2025年4月1日）
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2025年4月15日現在）

＜日系外債マザーファンドⅡ＞

下記は、日系外債マザーファンドⅡ全体(3,081,031千口)の内容です。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 28,800	千米ドル 28,093	千円 4,035,281	% 86.0	% —	% 84.7	% 1.2	% —
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
オランダ	2,200	2,141	348,390	7.4	—	7.4	—	—
合 計	—	—	4,383,672	93.4	—	92.2	1.2	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

日系外債オープン（為替ヘッジなし）

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
			%	千米ドル	千米ドル	千円	
アメリカ	特殊債券 (除く金融債)	DEV BANK JAPAN 4.875	4.875	2,000	2,040	293,077	2035/1/16
		JAPAN BANK COOP 4.375	4.375	1,000	1,000	143,716	2031/1/24
		JAPAN BANK COOP 4.625	4.625	1,000	1,001	143,855	2034/4/17
		JPN FIN ORG MUNI 4.375	4.375	400	400	57,503	2030/4/2
	普通社債券 (含む投資法人債券)	ASAHI MUTUAL LIF 6.9	6.9	2,400	2,431	349,269	—
		CENT JAPAN RAIL 4.25	4.25	1,000	803	115,424	2045/11/24
		DAI-ICHI LIFE	6.2	2,400	2,326	334,114	—
		FUKOKU MUTUAL 6.8	6.8	2,400	2,437	350,082	—
		MARUBENI CORP 5.383	5.383	1,000	973	139,895	2035/4/1
		MEIJI YASUDA LIF	6.1	1,400	1,353	194,367	2055/6/11
		MEIJI YASUDA LIF 5.8	5.8	1,000	957	137,464	2054/9/11
		MITSUB UFJ FIN 8.2	8.2	1,400	1,469	211,080	—
		MITSUI SUMITOMO 4.95	4.95	2,400	2,344	336,696	—
		MUFG BANK LTD 4.7	4.7	1,000	868	124,764	2044/3/10
		NIPPON LIFE INS 6.25	6.25	2,400	2,393	343,784	2053/9/13
		SUMITOMO LIFE 5.875	5.875	2,400	2,291	329,212	—
		SUMITOMO MITSUI	6.6	2,200	2,067	296,981	—
		TAKEDA PHARM 5.65	5.65	1,000	932	133,990	2054/7/5
小 計					4,035,281		
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
オランダ	普通社債券 (含む投資法人債券)	JT INTL FIN SERV 2.375	2.375	1,200	1,180	192,033	2081/4/7
		JT INTL FIN SERV 2.875	2.875	1,000	961	156,356	2083/10/7
小 計					348,390		
合 計					4,383,672		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 変動利付債の利率は、期末における利率です。

(注) 償還年月日が「—」表示の銘柄は永久債です。

日系外債マザーファンドⅡ
第7期 運用状況のご報告
決算日：2025年1月15日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	本邦の企業およびその子会社等（海外子会社等を含みます。）または政府系機関・地方自治体等の発行する、主に米ドルを中心とした先進国通貨建ての債券に投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	取得時において投資適格の信用格付を取得している外貨建債券を主要投資対象とします。
投 資 制 限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		Bloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPY		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
	期 騰	中 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率			
	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
3期(2021年1月15日)	11,199	0.8	150.77	1.8	97.6	—	1,879
4期(2022年1月17日)	12,249	9.4	158.80	5.3	95.1	—	2,148
5期(2023年1月16日)	12,502	2.1	160.61	1.1	94.8	—	2,093
6期(2024年1月15日)	14,823	18.6	188.15	17.1	95.8	—	4,423
7期(2025年1月15日)	16,734	12.9	206.14	9.6	96.2	—	4,345

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) Bloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPYは当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。
Bloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPYは当該日前営業日の指数値です。(以下同じ。)

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

「Bloomberg®」およびBloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPYは、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、SBI岡三アセットマネジメント株式会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはSBI岡三アセットマネジメント株式会社とは提携しておらず、また、当ファンドを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、当ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

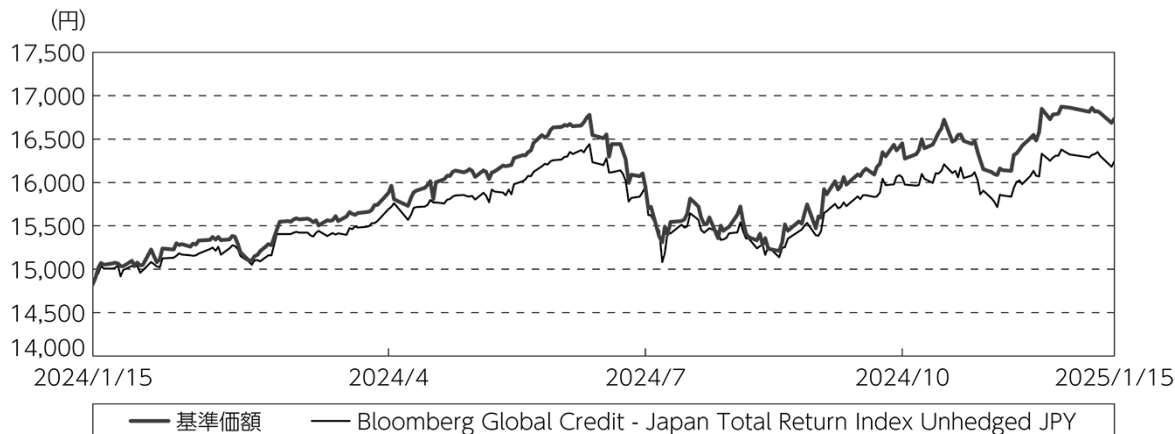
年	月	日	基 準 価 額	Bloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPY (参考指数)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
				騰 落 率	騰 落 率		
(期 首)			円	%	ポイント	%	%
2024年 1 月15日			14,823	—	188.15	—	—
1 月末			15,077	1.7	190.95	1.5	—
2 月末			15,372	3.7	193.68	2.9	—
3 月末			15,574	5.1	195.76	4.0	—
4 月末			15,879	7.1	199.17	5.9	—
5 月末			16,064	8.4	200.58	6.6	—
6 月末			16,635	12.2	206.35	9.7	—
7 月末			15,957	7.7	202.47	7.6	—
8 月末			15,489	4.5	195.65	4.0	—
9 月末			15,473	4.4	195.37	3.8	—
10月末			16,450	11.0	203.82	8.3	—
11月末			16,152	9.0	201.89	7.3	—
12月末			16,863	13.8	207.18	10.1	—
(期 末)							
2025年 1 月15日			16,734	12.9	206.14	9.6	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年1月16日～2025年1月15日)



(注) 参考指数は、Bloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPYです。

(注) 参考指数は、期首(2024年1月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・保有債券からの利息収入がプラス要因となりました。
- ・米ドルの対円での上昇がプラス要因となりました。
- ・一部の保有債券の利回り低下による債券価格の上昇がプラス要因となりました。

(主なマイナス要因)

- ・一部の保有債券の利回り上昇による債券価格の下落がマイナス要因となりました。

投資環境

(2024年1月16日～2025年1月15日)

欧米の債券市場は、長期ゾーンを中心に利回りが上昇（債券価格が下落）しました。欧米の主要中央銀行による利下げを受けて、買いが入る場面も見られましたが、期を通じては米国のインフレ再燃や財政悪化等を警戒した売りが優勢となりました。特に2024年12月以降は、米国のトランプ次期大統領の政策運営に対する先行き不透明感も売り圧力となり、利回りが急速に上昇する動きとなりました。

スプレッド（社債と国債の利回り格差）については、全般に縮小しました。欧米の主要中央銀行による金融緩和等を受けて、投資家のリスク志向が強まる展開となり、社債市場には高利回りを求める資金の流入が継続しました。

為替市場については、米ドルが対円で上昇しました。当期全般は堅調となった日米の株価動向等を背景に円売りが優勢となるなか、米国経済の底堅さや情報技術産業の優位性等を意識した投資フローが続き、米ドルが対円で値を上げる動きとなりました。一方、ユーロは、ドイツの景気減速やフランスの財政悪化等を警戒した売りも見られ、対円では小幅な上昇となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年1月16日～2025年1月15日)

債券組入比率は概ね高位を維持し、利息収入の確保に努めました。ポートフォリオのデュレーションは、市場動向に応じて調整し、当期末時点では4.74年程度としました。投資する銘柄の選択にあたっては、流動性、信用リスクに留意しつつ、利回り、業績、財務面等の魅力が高いと判断される債券に着目しました。

組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り為替ヘッジは行いませんでした。

今後の運用方針

欧米の債券市場については、利回りの低下（債券価格の上昇）を予想します。米国の政策運営に対する先行き不透明感、新政権が始動して現実の政策が明らかになるに連れて、徐々に弱まると思われます。また、全般に物価指標は落ち着いた推移を続けており、今後も欧米の主要中央銀行による利下げが想定されることから、次第に債券を買う動きが強まる展開となることを見込んでいます。

スプレッドについては、概ね安定した動きとなることを予想します。引き続き、欧米の主要中央銀行の金融緩和等を背景に投資家心理が下支えされるなか、今後も社債市場への資金流入が継続すると見込んでいます。

為替市場は、総じて横ばい推移となることを予想します。欧米の金利低下を受けた米ドルやユーロの売りが想定される一方、円についても市場参加者のリスク志向を背景とした売りが出やすいと考えられるため、全般に米ドルやユーロの対円相場はもみ合いとなることを見込んでいます。

このような状況下、当ファンドの運用においては、債券組入比率を高位に維持し、利息収入を主な収益源として、安定したパフォーマンスの実現を目指す方針です。また、ポートフォリオのデュレーションは、市場動向に応じて調整を図ります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 1 月16日～2025年 1 月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 3	% 0.016	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合 計	3	0.016	
期中の平均基準価額は、15,915円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2024年 1 月16日～2025年 1 月15日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	特殊債券	千米ドル 8,259	千米ドル 8,899
		社債券（投資法人債券を含む）	20,190	19,120 (2,800)
	ユ ー ロ		千ユーロ	千ユーロ
		特殊債券	493	496
	日 本	社債券（投資法人債券を含む）	1,925	1,954

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2024年 1 月16日～2025年 1 月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年 1 月15日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	額面金額	当 期 末						
		評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 24,600	千米ドル 24,442	千円 3,863,852	% 88.9	% —	% 81.7	% —	% 7.3
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
オランダ	2,000	1,947	317,230	7.3	—	7.3	—	—
合 計	—	—	4,181,082	96.2	—	89.0	—	7.3

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘			柄		当				期		末		償還年月日
					利	率	額面金額	評		価		額	
								外貨建金額	邦貨換算金額				
アメリカ					%	千米ドル	千米ドル	千円					
	特殊債券 (除く金融債)	DEV BANK JAPAN 4.875	4.875	800	791	125,134	2035/ 1 /16						
		DEV BANK JAPAN 5.125	5.125	1,000	1,006	159,118	2026/ 9 / 1						
		JAPAN BANK COOP 4.375	4.375	1,000	968	153,162	2031/ 1 /24						
	普通社債券 (含む投資法人債券)	ASAHI MUTUAL LIF 6.9	6.9	2,200	2,268	358,616	—						
		CENT JAPAN RAIL 4.25	4.25	1,000	813	128,632	2045/11/24						
		DAI-ICHI LIFE	6.2	1,000	1,000	158,119	—						
		DAI-ICHI LIFE 4	4.0	1,400	1,370	216,598	—						
		FUKOKU MUTUAL 6.8	6.8	2,000	2,100	332,056	—						
		MEIJI YASUDA LIF 5.1	5.1	1,400	1,379	218,021	2048/ 4 /26						
		MEIJI YASUDA LIF 5.8	5.8	1,000	981	155,193	2054/ 9 /11						
		MITSUB UFJ FIN 8.2	8.2	1,400	1,524	240,918	—						
		MITSUI SUMITOMO 4.95	4.95	2,400	2,352	371,872	—						
		MUFG BANK LTD 4.7	4.7	1,000	875	138,425	2044/ 3 /10						
		NIPPON LIFE INS 6.25	6.25	2,000	2,050	324,092	2053/ 9 /13						
		NTT FINANCE 5.136	5.136	1,000	992	156,952	2031/ 7 / 2						
		SUMITOMO LIFE 5.875	5.875	2,000	1,962	310,285	—						
		SUMITOMO MITSUI	6.6	1,000	1,011	159,891	—						
		TOYOTA MTR CRED 3.4	3.4	1,000	991	156,760	2025/ 4 /14						
		小計						3,863,852					
		ユーロ				千ユーロ	千ユーロ						
オランダ	普通社債券 (含む投資法人債券)	JT INTL FIN SERV 2.375	2.375	1,000	985	160,407	2081/ 4 / 7						
		JT INTL FIN SERV 2.875	2.875	1,000	962	156,822	2083/10/ 7						
小計						317,230							
合計						4,181,082							

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 変動利付債の利率は、期末における利率です。

(注) 償還年月日が「—」表示の銘柄は永久債です。

○投資信託財産の構成

(2025年1月15日現在)

項 目		当 期 末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
公社債		4,181,082	90.2
コール・ローン等、その他		453,069	9.8
投資信託財産総額		4,634,151	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(4,293,933千円)の投資信託財産総額(4,634,151千円)に対する比率は92.7%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル＝158.08円、1ユーロ＝162.85円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年1月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,634,151,907
コール・ローン等	222,746,679
公社債(評価額)	4,181,082,549
未収入金	154,820,391
未収利息	69,663,252
前払費用	5,839,036
(B) 負債	288,809,574
未払金	284,809,574
未払解約金	4,000,000
(C) 純資産総額(A－B)	4,345,342,333
元本	2,596,653,461
次期繰越損益金	1,748,688,872
(D) 受益権総口数	2,596,653,461口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,734円

- (注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.6734円です。
- (注) 当ファンドの期首元本額は2,984,473,009円、期中追加設定元本額は1,314,049,416円、期中一部解約元本額は1,701,868,964円です。
- (注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。
- | | |
|----------------------------------|----------------|
| 北陸みらい応援ファンド(愛称 北陸のかがやき) | 1,281,461,471円 |
| くまもと未来応援ファンド(愛称 復興投信) | 783,499,512円 |
| リスク抑制型・4資産バランスファンド(愛称 にいがた創業応援団) | 354,104,040円 |
| 日系外債オープン(為替ヘッジあり) | 106,165,849円 |
| 日系外債オープン(為替ヘッジなし) | 71,422,589円 |

○損益の状況 (2024年1月16日～2025年1月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	237,092,820
受取利息	237,083,038
その他収益金	12,776
支払利息	△ 2,994
(B) 有価証券売買損益	352,370,368
売買益	436,011,288
売買損	△ 83,640,920
(C) その他費用等	△ 745,761
(D) 当期損益金(A+B+C)	588,717,427
(E) 前期繰越損益金	1,439,451,897
(F) 追加信託差損益金	747,250,584
(G) 解約差損益金	△1,026,731,036
(H) 計(D+E+F+G)	1,748,688,872
次期繰越損益金(H)	1,748,688,872

- (注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈お知らせ〉

該当事項はございません。